

R と Keras でディープラーニングをする手順めも 2019.7 月

『R と Keras によるディープラーニング』（オーライリージャパン）を Windows で学ぶ際に必要になった R とライブラリー、python に関するメモ

以下で R へ入力するコマンドを赤字で記している

1. R のバージョン 3.4 をインストールするⁱ。

古いバージョンをインストールするには R とバージョン名で google 検索する

<https://cran.r-project.org/bin/windows/base/old/3.4.4/> ←3.4.4 の場合のリンク

R 3.4.4 (3.5 以降はうまくいかないかも)に、keras ライブラリーを CPU インストールする

```
>install.packages("keras")
```

2. python のインストール

Windows で Keras ラブラリーを利用するためには python という、機械学習でよく使うプログラム言語をインストールしておく必要がある。

python 3.7 は TensorFlow が対応していない？3.6 をインストールする。

Anaconda-3-2019.03-Windows-x86_64.exe をインストールし、コマンドプロンプトの画面で

```
conda install conda=4.6 (これで python も 3.6 になるみたい)
```

とする。

R で、

```
>library(keras)
```

```
>install_keras(version = "1.12")
```

とすると、

```
>imdb <- dataset_imdb(num_words =10000) # 例 3-1
```

が動くようになった。CNN のサンプルコードも順調に動いている。

必要に応じて Rtools35.exe もインストールしておく？

ⁱ 2019年5月時点では、Keras用に古いバージョンをインストールする必要があった。この状況はKerasやそのバックエンドで走るTensorFlowのバージョンアップにより改善されるかもしれない。最新verのRとは別にver 3.4をインストールしておき使い分ける。